

教科名	商業	科目名	原価計算（2年次）【4単位】	
授業形態	講義形式			
選んでほしい生徒	簿記を履修したもしくは履修している人			
科目の目標	製造業における原価計算および簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、原価について理解するとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を習得する。			
身に付けてほしい学力	原価計算の基本的な考え方と計算方法および工業簿記の基本的な記帳方法を習得する。原価計算の役割や資料の有効な活用について理解する。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<b>【1学期】</b> 1 工業簿記と原価計算 2 原価の費目別計算 3 原価の部門別計算 4 個別原価計算  <b>【2学期】</b> 5 総合原価計算 6 工程別総合原価計算 7 製品の完成と販売 8 原価情報の活用  <b>【3学期】</b> 9 記帳練習問題 10 形式別復習問題		・原価計算の基本的な事項、製品の製造原価を計算するための第1手続きとしての費目別計算を学習する。  ・第2、第3手続きとしての部門別計算と製品別計算の記帳方法を学習する。 ・製造業の決算について、報告書の作成方法を学習する。  ・原価情報の活用に関する基礎的な知識と技術を習得する。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	・製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに原価計算から得られる情報を活用する態度を身に付けている。	・各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、原価計算から得られる情報を的確に処理することができる。	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、課題や資格取得への取組姿勢、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 休まず授業に出席して、家庭での復習もしっかりしましょう。課題も頻繁にありますから、必ず提出しよう。 2 検定試験で合格すると全商簿記検定1級「原価計算」の資格が取得できます。積極的に挑戦し、高校卒業後の進路にも役立てよう。			
教材費	教科書 約1,000円	問題集 約700円	検定受験料	1,030円
その他	1月の全商簿記検定（原価計算）を受験すること。			